

時代が変わった今だから わかることがある。 今だから 見えるものがある。

ブックフェア

いま、学びなおしたい性の話 展



2人の医師による性教育コンテンツ制作ユニット

## アクロストンさん

### profile

2人は妻、夫の関係で、この春に中3と中1になる子どもとともに暮らしています。医師の仕事をしつつなので性教育に関してとれる時間は多くはないのですが、その中で、小中学校での授業や、自治体主催の講演会・ワークショップなどを行ったり、家庭ではじめられる性教育のヒントや性に関する社会問題についての執筆、SNS等での発信、web・雑誌記事の監修などもしています。

# 性教育にとりくんできた想いや、そのきっかけは何ですか？

自身の子ども達が小さかった頃、スマートフォンやタブレットに出てくる、アダルト系マンガなどの暴力的な性が描かれている広告を目にし、このようものを自ら知りたいたいと思うタイミングでないのに目にしてしまうかもしれないのであれば、それより前に、科学的に正しく、そして豊かな性について、積極的に伝えていこうと思っただのが性教育にとりくみはじめたきっかけです。

きっかけは、子どもたちが小さな頃に考えたこと



産業医の妻・みさとさん（右）と、訪問診療医の夫・たかおさん（左）

性教育について学ぼううちに、**包括的性教育**やフェミニズムと出会い、ひとりでも多くの子が（本当はすべての子が）**自分のからだのことは自分で決める**「ことができるようになるためのお手伝いをしたいと思うようになりました。

## ことば：「包括的性教育」とは？

体の発達や生殖などの生物学的な面に加え、人間関係や性の多様性、ジェンダー平等、暴力と安全確保、性的行動、健康といった幅広いテーマを含む「人権」を基盤とした性教育のこと。ユネスコ（国連教育科学文化機関）などが作成した「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」に基づく。性教育・性の学習を保障することは性の権利（セクシュアル・ライツ）であるとする国際的潮流の中で使われてきた。

# Update !

Recommended by



## 学びのサポートBOOKS

01

中学生 一般

『改訂 性の“幸せ”ガイド 若者たちのリアルストーリー』

関口久志（著） エイデル研究所 2021年



性教育についてはじめて学ぶ／学びなおす大人にピッタリの本です。性教育全般について知りたい時は、まず、この本から始めてみるのがおススメ。学生とのエピソードも豊富で、大学の面白い先生の授業を受けているような気持ちで読むことができます。

02

小学生 中学生  
一般

『思春期の心とからだ図鑑』

ロバート・ウィンストン、名越康文（監修）、林啓恵・蒔田和子（訳）三省堂 2019年



性教育全般を図鑑形式で知りたい人向け。見開きで各トピックがピクトグラムや図表で整理されています。ネットいじめなど、思春期の子どもが過ごしている現状に即したテーマも。大人と子ども、一緒にページを開きながら性について話すのもいいかもしれません。

03

中学生 一般

『うちの息子はたぶんゲイ』（全5巻）

おくら（著）スクウェア・エニックス 2019年



高校生の息子のほのぼの（時々モヤモヤ）した日常生活、母親視点で描かれているマンガで、大人も子どもも楽しんで読めます。「男性は女性と付き合うもの」「結婚するのは当然」という昭和的な価値観をもった父親もでてきますが、その様子は、価値観をアップデートしたい人にとって参考になると思います。

04

一般

『性教育はどうして必要なんだろう？』

浅井春夫・良香織・鶴田敦子（編著）大月書店 2018年



性教育についてより学術的な側面から深掘りできる本です。世界で標準的に広まっている性教育（包括的性教育）はどのようなものか、それがなぜ日本では公教育になかなか導入されないのか、今の日本の性に関する教育の何が問題なのかなどの理解につながります。

05

小学生 中学生  
一般

『発達が気になる子の性的話 みんなでいっしょに学びたい』

伊藤修毅（監修）講談社 2023年



子どもと大人と一緒に性のことを学べる本です。子どもへの伝え方やイラストもたくさん載っており、「子どもにどう性のことを話せばいいかわからない」と悩む方の手助けになるはず。タイトルに「発達障害が気になる子の」とありますが、気になる子にとっても、気にならない子にとっても、全ての子におすすめです。

06

中学生 一般

## 『君の心に火がついて』

ツルリンゴスター (著) KADOKAWA 2022年



ジェンダーのこと、自分らしさについて考える際にピッタリのマンガです。各章には周りから強制されるあるべき姿や、自分の気持ちを抑えて暮らしてきた主人公たちの夫婦関係、恋愛(若者も高齢者も)、女らしさ・男らしさ、孤独、親子関係などが丁寧に描かれています。読んだ後は、良質な映画を見た後のような感覚が胸の中に残りました。

07

中学生 一般

## 『秘密を語る時間』

クジョンイン (著)、呉永雅 (訳) 柏書房 2021年



小さな頃に性暴力にあった、高校生の女の子の日常が静かに描かれているマンガです。誰にも相談できず「秘密」を抱えたまま過ごしている彼女の思いや悩みにふれることで、性暴力への怒りや「秘密を語る時間」の大切さなどたくさんのことを考えました。

08

幼児 小学生

一般

## 『3～9歳ではじめるアクロストン式、「赤ちゃんってどうやってできるの？」いま、子どもに伝えたい性のQ&amp;A』

アクロストン (著) 主婦の友社 2020年



「性教育ってどんなもの?」「性教育をはじめたいけど、どんな話をしていいのかわからない」と思っている人向けに私たちが書いた本。3～9歳の保護者に限らず性教育について初歩的なところからふれたい方向け。カラフルでポップなクラフトもふんだんに載っています。

09

小学生 中学生

一般

## 『思春期の性と恋愛 子どもたちの頭の中がこんなことになってるなんて!』

アクロストン (著) 主婦の友社 2020年



思春期の子どもたちがどんな性の悩みを持っているか、どんなことを考えているのか、子どもたちを取り巻く現状がどうなっているのかを知りたい人向け。からだの変化、セックス、恋愛や性の多様性などを扱っています。親子で寝る前に少しずつ一緒に読んで語り合った方もいるそうです。

10

小学生 中学生

一般

## 『10歳からのカラダ・性・ココロのいろいろブック』

アクロストン (著) ぼるぷ出版 2021年/2022年



思春期の子が一人で読み、性の知識を身につけられる本です。

2巻の構成で、『変わるカラダのいろいろ編』はカラダの仕組みや思春期におこる変化について。「毛が生えてきたらどうしたらいい?」「ナプキンのつけ方・捨て方は?」など、読んだら実践できるように細かく書きました。



『性とココロのいろいろ編』では「恋愛ってどんなもの?」「セックスってなに?」など子ども達が知りたいトピックや、「自分の性別に違和感がある」「同性の子がすきかも」など様々な思いを抱える子どもにとって自分や社会をしるヒント、また「性暴力はどんなものがある? あったらどうしたらいい?」という知識など、盛りだくさんに詰め込んでいます。

# お悩み

(30代女性より)

## Q.1

学校での性教育がどのようなものか  
見えないのが不安です。

## A.1

学校で行われている性教育の現状については『**性教育はどうして必要なんだろう？**』（大月書店）を読んでもらうとより深く知ることができます。

教えてくれたのは…



2人の医師による性教育コンテンツ制作ユニット

**アクロストンさん**

子どもたちは学校でいつ、何を学んでいる？

**小学校4年生の保健体育**では、思春期に起こるからだ・心の変化や、生理(月経)や射精の仕組みについて、**小学校5年生の理科**では子宮の中での赤ちゃんが育つことについて、そして**中学校**では妊娠、避妊、中絶について教えています。

学校では取り扱わない内容もある

学習指導要領には「**はどめ規定**」という規制が存在し、小学校では「人の受精に至る過程は取り扱わない」、中学校では「妊娠の経過は取り扱わない」ことになっています。

教科書には卵子や精子、コンドーム、性感染症といった用語が出てくる一方、生殖の核心部である「性交」「セックス」については教えることを避ける傾向。

初潮を迎えるまでに学びたいが・・・

小学校4年生の保健体育では、生理の仕組みについて簡単に扱うものの、生理用品の使い方は小学校5年生の宿泊行事（林間学校や研修旅行など）の前に授業を行う小学校が多くなっています。約28%の人は11歳までに初潮を迎えているので、こうした授業を実施するタイミングをもっと早くする必要があるといえます。

担任の先生や養護教諭の先生が熱心に授業をしたり、外部講師を招いたりしてより充実した性教育を行っている学校もあるが、一部に限られている。

日本以外の国ではどのように学んでいるのか

世界に目を向けると、学校現場における性教育のスタンダードとしてユネスコが「**国際セクシュアリティ教育ガイダンス**」を作成しています。ここでは包括的性教育が提唱されており、日本の現状のような制限のあるものではなく、性と生殖に関する健康、人間関係、性の多様性、ジェンダーの理解、人権などを扱っており、これらを5歳から段階的に学んでいくことがこのガイダンスで推奨されています。

アクロstonさん、ありがとうございました！

ことば：「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」についてくわしく知りたい方へ

01



02



01：『国際セクシュアリティ教育ガイダンス 科学的根拠に基づいたアプローチ 改訂版』  
明石書店（2020年）ユネスコ（編）、浅井春夫・良香織・田代美江子・福田和子・渡辺大輔（訳）

02：『「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」活用ガイド 包括的性教育を教育・福祉・医療・保健の現場で実践するために』  
明石書店（2020年）浅井春夫・谷村久美子・村末勇介・渡邊安衣子（編著）

# お悩み

(40代女性より)

## Q.2

性教育の大切さは認識していますが、簡単に触れてはいけないものという自己意識をもち、家庭内で話題にするのに意識の壁、ハードルのようなものを感じます。

## A.2

まず、性教育の内容について広く捉えなおそう

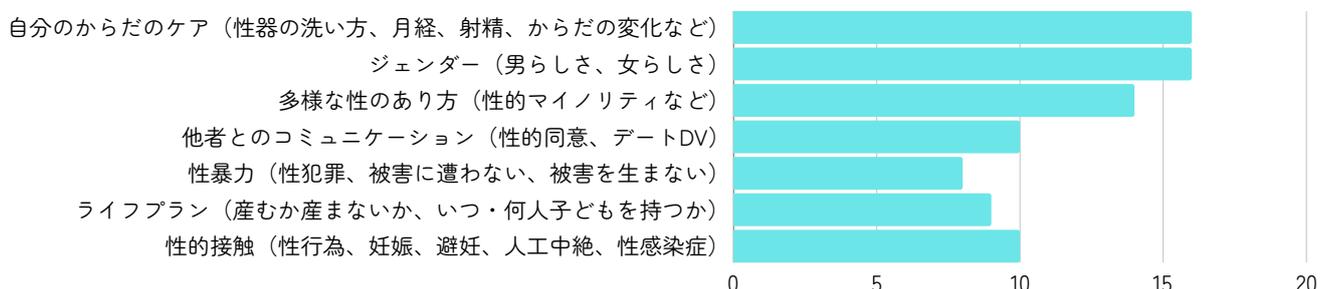
性教育は従来、二次性徴、生理、射精、といったからだの変化や現象、そして妊娠に関わることを学ぶものとされてきました。

しかし今は、性教育は**包括的性教育**といって、からだや性、周りの人や社会とのかかわり方についてなど、さまざまな知識をまなび、それを自分の権利としていくものとなっています。

従来の性教育の部分はハードルが高いかもしれませんが、包括的性教育の部分の、**人との関わり方や自分のからだについて知っていくこと**については、すでに**多くの家庭でも気づかずにやっていること**と思います。なので、まずはあまり気構えずに、大人が包括的性教育について知ってほしいなと考えています。

### ブックフェアに際して行ったアンケート（N=20）結果より

性に関することで、**実際にご家庭内で話題にしたことのある項目**をお答えください。



## 身近な科学の延長として話してみる

従来の性教育の内容、特に話しにくいであろう妊娠に関することですが、実は子どもが小さければ小さいほど、子どもにとっては特別な話ではありません。生殖に関しても虫の足は何本？桜の花びらは何枚？といった身近な科学の延長として捉えています。そのような時期に、科学の話として妊娠やからだのしくみについても話していけると話しやすいと思います。

## 横並びになって一緒に本を眺めてみる

話し方のコツは、面と向かって話すハードルを感じると思いますので、**横並びに座って、一緒に本を眺めながら話をすること**です。

自著になってしまいますが、お子さんが小さい場合は『**3～9歳ではじめるアクロストン式、「赤ちゃんってどうやってできるの？」いま、子どもに伝えたい性のQ&A**』（主婦の友社）がおすすめです。お子さんが思春期に差し掛かる場合は、『**10歳からのカラダ・性・ココロのいろいろブック**』（ほるぷ社）を、お子さんと一緒に眺めてみるのもいいかもしれません。



2人の医師による性教育コンテンツ制作ユニット

**アクロストンさん**